

## 令和4年第10回花巻市教育委員会議定例会 議事録

### 1. 開催日時

令和4年9月28日（水）午前10時～11時10分

### 2. 開催場所

石鳥谷総合支所 大会議室

### 3. 出席者（5名）

教育長 佐藤 勝

委員 熊谷 勇夫

委員 中村 弘樹

委員 衣更着 潤

委員 役重 眞喜子

### 4. 欠席者（1名）

委員 中村 祐美子

### 5. 説明のため出席した職員

教育部長 菅野 圭

教育企画課長 小原 賢史

学務管理課長 八重畑 亘

学校教育課長 及川 仁

こども課長 大川 尚子

文化財課長 鈴森 直明

生涯学習部長 市川 清志（オンライン参加）

### 6. 書記

教育企画課 課長補佐 畠山 英俊

教育企画課 総務企画係長 瀬川 千香子

教育企画課 総務企画係 主事 荒木田 美月

### 7. 議事録

#### ○佐藤教育長

只今から、令和4年第10回花巻市教育委員会議定例会を開会いたします。

会議の日時、令和4年9月28日、午前10時。

会議の場所、石鳥谷総合支所、大会議室。

日程第1、会期の決定であります。本日一日とすることにご異議ありませんか。

(異議なし)

#### ○佐藤教育長

「異議なし」と認め、本日一日と決定いたします。

日程第2、報告事項に入ります。

令和4年第3回花巻市議会定例会教育関係事項について報告いただきますが、市議会報告については、今回から生涯学習部の分についてもご報告いただくことといたします。

本日は、日程の関係で、生涯学習部から報告いただき、その後、生涯学習部についての質疑という区切った形で進めさせていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

それでは、事務局から報告をお願いします。市川生涯学習部長。

#### ○市川生涯学習部長

補助執行部分につきまして、ご報告いたします。

新花巻図書館整備に関する試案検討会議の検討状況及び市民説明会を開催するということについて、行政報告において報告をいたしました。

内容は資料No.1-4のとおりでございます。

次に、一般質問についてですが、補助執行分につきまして、登壇議員15名中4名の議員から次の項目について質問がありました。

なお、答弁の詳細、概要につきましては、資料1-2のとおりでございます。

まず、1岩手県化製油脂協同組合に係る公害対策について、(2)悪臭について伺う、④観光施設等への影響についてということでしたが、観光施設についての質問項目がありますが、中身につきましては、宮沢賢治記念館等について答弁したものでございます。

次に、2新花巻図書館及びJR花巻駅橋上化・東西自由通路整備についてという質問の中で、(1)市政懇談会での回答について伺う、(2)新花巻図書館整備基本計画試案検討会議の位置づけについてという項目でございます。

1新花巻図書館の整備について、(1)立地適正化計画において生涯学園都市会館周辺への移転とした背景について、(2)新花巻図書館整備基本計画試案検討会議における建設候補地の選定について、(3)市内各図書館の職員及び社会教育指導員の意見を反映させる考えについて、1新花巻図書館の整備について、(1)建設候補地について、(2)中央図書館としての機能について、(3)利用登録者数の見込みについて、(4)市民参画についてという質問でございました。

また、議案審議におきましては、原案のとおり可決されました。

令和3年度花巻市一般会計歳入歳出決算の認定について、補助執行関係については、資料1-3のとおりでございます。

## ○佐藤教育長

再度、かいつまんで内容の説明をお願いします。

## ○市川生涯学習部長

行政報告について、資料の1-4でございます。

新花巻図書館整備に関する試案検討会議の検討状況を、これまで11回、現段階で12回開催しておりますが、どのような意見があったかということをお話しし、今後、市民への説明会を開催したいという報告をしたものでございます。

次に、一般質問について、資料の1-2をお開きください。

先ほど申しましたが、岩手県化製油脂協同組合に係る公害対策について、悪臭について伺うという内容でございます。35ページをお開きください。

観光施設等への影響に関して、悪臭モニターをしております花巻新渡戸記念館及び宮沢賢治記念館について、花巻新渡戸記念館では、令和3年度は110回、宮沢賢治記念館では4回報告している旨を回答したものでございます。ただ、実際に窓口で担当している職員の話を聞いたところ、利用者から悪臭についての苦情や問合せはないと伺ってございます。

36ページです。新花巻図書館及びJR花巻駅橋上化・東西自由通路整備について、市政懇談会での回答について伺う、新花巻図書館整備基本計画試案検討会議の位置づけについて伺うという質問であります。松園地区で行った市政懇談会での回答についての質問、もう一つは、試案検討会議の位置づけについての質問でございます。

次に、41ページでございます。新花巻図書館の整備について、(1)立地適正化計画において生涯学園都市会館周辺への移転とした経緯についての質問でございました。立地適正化計画は建設部で策定した計画でありますので、建設部と合同で回答いたしました。

現在の基本構想においては、立地適正化計画上の「都市機能誘導区域」に移転するとしておりますが、立地適正化計画を策定した段階では、まなび学園周辺に図書館を移転すると計画にあったということでのご質問でございました。

44ページ、新花巻図書館の整備について、(2)と(3)であります。建設候補地の選定について伺う、また、図書館の職員及び社会教育指導員の意見を反映させる考えについて伺うものでございます。

建設候補地につきましては、試案検討会議においてJR花巻駅周辺のスポーツ用品店敷地を希望する、または、どちらかという希望する意見が多かったと捉えており、その中で、これまで検討してきた図書館の概要と検討の経過を踏まえ、先ほど申しましたJR花巻駅周辺スポーツ用品店敷地を第一候補地としてJR東日本と交渉することについて、今後、市民説明会を開いていくということをご答弁しております。

(3)図書館の職員、社会教育指導員の意見を反映させる考えにつきましては、現在も定期的に図書館の職員との意見交換をしておりますが、今後、また必要であれば協議をしていくという回答をしております。

47ページです。新花巻図書館の整備についての建設候補地について、中央図書館につい

て、利用登録者数の見込みについて、市民参画についてのご質問でございます。建設候補地については、先ほどと同じく、今後市民説明会をしていくという回答をしております。

中央図書館としての機能については、学校図書館との連携や中央図書館としてレファレンス機能を強化していくことなどを、試案検討会議で検討しているということを回答しております。

利用登録者数の見込みにつきましては、現在、富士大学の早川教授のアドバイスを受けながら、利用登録者数の設定、目標を定めておりますが、その状況についてご説明をしております。

市民参画につきましては、現在まだ、試案検討会議で試案を検討している段階であります。計画策定の段階に入りましたら、予定しております市民との意見交換会とパブリックコメント、図書館協議会での審議を行いたいと回答しております。

以上、一般質問についてでございます。

議案審議、令和3年度の決算についてでございます。全体で承認をいただいたということですが、生涯学習の点で質問がありましたのは、図書館について、また、市の生涯学習事業について、決算を踏まえて、今後どのようにしていくのかという質問がございました。

#### ○佐藤教育長

生涯学習部の報告について、質疑のある方はございますか。衣更着委員。

#### ○衣更着委員

新花巻図書館整備についての質疑を3名の議員からされたようですが、検討会議の開催は12回とおっしゃいました。駅前の用地を取得して、図書館用地にすることが第一案とのことでしたが、いつの会議で決まったのでしょうか。第一候補という捉え方で進めているようですが、まだ、生涯学習会館の用地の方がよいのではないかという意見もある中で、過半数が駅前を希望しているという説明になっている感じがしたのですが、いつからそのような動きになったのか教えてください。

#### ○佐藤教育長

市川生涯学習部長。

#### ○市川生涯学習部長

候補地を駅前のスポーツ用品店敷地に決めたわけではございません。これまで試案検討会議を12回開催しておりますが、4月28日の第8回の検討会議から、候補地の選定について意見を聞いてきたところです。この試案検討会議で、どのような図書館がほしいか、どのような図書館を作るべきか検討してきており、その図書館を建てるのにふさわしい場所はどこかということで、具体的に検討してきたものです。候補地は、これまでの市民の皆様、議会にもお話してきておりますが、6ヶ所、7つの建設パターンをお示ししてきたところです。それについて、第8回の試案検討会議からご意見を聞き、8回、9回、10回とお聞きしてきた中で、先ほど申しましたが、駅周辺のスポーツ用品店の場所がよいのではないかと

いう意見、どちらかというところがいいという意見が多かったところです。まなび学園周辺につきましても、総合花巻病院の跡地がよいという意見がございました。

それらを踏まえ、市としてまずは第一候補地として、スポーツ用品店の場所を設定いたしました。JR 東日本が所有する土地でございます。この場所については、これまでもご説明してきておりますが、JR 東日本は、基本的に土地を売らないという考え方の中で、花巻市がまちづくりのために図書館を作りたいということであれば、協議には応じてよいと言われているものであります。どう売ってもらえるかはまだわからないものですから、試案検討会議中の意見の中では、スポーツ用品店の場所についての意見が多かったと捉え、JR 東日本に交渉をしたいと考えているものです。それについて、10 月中旬から市民説明会を市内各地で開いていきたいと考えているところです。

**○佐藤教育長**

衣更着委員。

**○衣更着委員**

JR との協議をまだしていないという市長の答弁を見ますと、そちらの方向に進めたいように見受けられました。JR の土地を取得するといっても、賃貸で何十年借りるということを聞いた気がいたします。後世に負担のないように議論を重ねていってほしいと思います。

それから、複合施設というお考えもあるようですが、図書館、社会教育施設は、居住空間と同居するのはいかがなものかと個人的には思います。複合施設の場合、そういった問題も指摘している議員もいらっしゃると思いますので、より多くの市民の方の意見を聞いて決めていただきたいと思います。

**○佐藤教育長**

市川生涯学習部長。

**○市川生涯学習部長**

複合施設についてです。平成 31 年 1 月に、複合施設として図書館を建てるという構想を公表したことがございますが、現段階では考えておりません。

複合施設は、図書館を JR の土地を借りて、上に賃貸住宅をつけるという構想でした。市議会特別委員会が設置され、市議会からも、図書館は単独でつくってほしい、土地については市有地に建てるべきだという意見をいただきました。それにつきましては、市としても重視しており、現在は、土地を借りる、あるいは、住宅を併設するという計画、構想はなくなっております。

**○佐藤教育長**

衣更着委員。

**○衣更着委員**

わかりました。

**○佐藤教育長**

役重委員。

## ○役重委員

たくさんさんの質疑と答弁、お疲れ様でございました。

市川部長から、こういう図書館があればよいというビジョンや構想があって、それにふさわしい立地はどこかということを検討されてきたというお話がありました。私もまさにそのとおりだろうと思っており、議会でのやりとりも、せつかく何十年に1回という図書館を建てるという機会に、立地はもちろん大事ですが、プロセスとか説明が悪かったとか、どっちが後先だったとか、そのような議論になってしてしまっていることは、あまり幸せなことではないと感じております。

改めてお伺いしますが、こういう図書館であるべきではないかというビジョン、構想、一番大事なコンセプトはこの答弁からは探せていないのですが、検討会議での意見を受けて、市として今どのように考えているということでしょうか。

## ○佐藤教育長

市川生涯学習部長。

## ○市川生涯学習部長

テレビ会議のため少し聞きとれませんでした。確認いたしますが、市としてどのような図書館を作るのかという考え方をお聞きしたいということでしょうか。

## ○佐藤教育長

役重委員。

## ○役重委員

そのとおりです。どういう図書館を作りたいかというビジョンや構想、基本的な目指すものがあって、それにふさわしい立地を考えるということ为先ほど部長がおっしゃいましたので、検討会議を経て、立地以前の、市としてどのような構想やビジョンをお持ちなのかということ、今さらですがお聞きしたいと思います。

## ○佐藤教育長

市川生涯学習部長。

## ○市川生涯学習部長

10月中旬から開催する説明会でお話はしていきたいと思っておりますが、基本的に図書館の基本構想において基本方針を定めております。その中で、「宮沢賢治や萬鉄五郎をはじめとした多くの先人を輩出していること、江戸時代の先人を顕彰した「鶴陰碑」に記された人々は、自らの研鑽に精進し学術文化はもとより地域や産業の振興と発展、そして後継者の育成に努力を重ねてきたことから、新しい花巻図書館の整備に当たっては、市民一人ひとりの生活や活動を支援することを基本的に考えながら、図書館が次世代を担う子どもの読書活動を支援し豊かな心を育てる施設として、また情報を地域や産業の創造に結びつける施設として、情報を町や市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、3つの方針を定めたものであります。

郷土の歴史と独自性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館、すべての市民が親し

みやすく使いやすい図書館、暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ市の情報拠点としての図書館。

以上を基本とし、具体的にどのようにしていくかということを検討会議で話し合ってきました。基本的には、資料と情報の収集、それらを提供するサービス、また、図書館で得た知識等を活用できるようにしたい、紙媒体と今後の電子媒体を相互保管的に収蔵して提供する、そして、新花巻図書館は中央図書館として、市立図書館はじめ各図書館等のサービス網の中核となること。学校図書館と連携し、子どもの読書活動を支援、豊かな心を育てること。郷土資料や先人資料を、特に宮沢賢治に関する資料の収集と提供をすること。そして、イーハトーブ館や市博物館、記念館等と資料を検索と連携すること。これらを検討してきたところであります。

そして、立地場所につきましては、検討会議の中で、今まで図書館を利用できなかった若者や通勤者、学生や生徒の利用が期待できること。また、自家用車を使えない高齢者も、公共交通機関の利用ができること。広い世代の方々が図書館を利用できれば、活気ある駅前が期待できるという観点から、JR 花巻駅前のスポーツ用品店の敷地がよいのではないかと捉えたところでございます。

#### ○佐藤教育長

役重委員。

#### ○役重委員

素晴らしい方針だと思うのですが、あまりにもてんこ盛りといいますか、たくさんの理想を盛り込みたいというのはそのとおりだと思いますが、市民の方に、こういう図書館を作りたいのだということが、一言では言えないと思いますが、3行ぐらいで市の強い思いやビジョンが伝わるようなことを伝えてほしいと思います。そうしないと、おそらく市民の方はわからないと思います。どんな図書館が目指されているのか、若い世代がいつでも、どこからでも集まれるようにしたいとか、市民の方が、どんな人でもそこに行けば何かしら自分の必要とする問題解決にアクセスできるような図書館にしたいとか、当たり前ではない花巻としての考え方をぜひお聞きしたいと思いますので、市民説明会でご説明いただければと思います。

併せて、市民説明会について、学生への案内ということで情報はいただいているのですが、何を説明するのかわかりません。JR と用地を交渉することについて、市民の皆様に説明するとなっていますが、それで人が集まるのかということもありますし、やはり、図書館そのものについて説明を聞きたいというのが一般市民だと思います。もちろん、いろいろな経緯があってこの表現になったことは想像できますが、やはり市民に何をアピールして、このような参加でこのような声を聞きたいという訴えかけがなければならぬと思います。この説明会の呼びかけは、私は疑問です。学生に見せましたが、さっぱりわかりませんと言われてしまいました。

阿部一男議員の市民参画に関する質問についてですが、この答弁はもちろん参画条例に

則ったルールを話したものですから、可もなく不可もないと思いますが、多様な意見を聞きたいという姿勢が伝わる呼びかけをして、実のある市民参加をこれからやっていっていただきたいということです。説明会のパンフレット、チラシの文言について何かお答えがあればお願いします。

○佐藤教育長

市川生涯学習部長。

○市川生涯学習部長

試案検討会議の皆さんにも資料を見ていただいております。その中で、これまで検討してきた経過、どのような図書館ができるかということを示すべきだというご意見もあり、概要版、わかりやすい1枚の紙にまとめたものがございます。一方で、詳しく説明すべきだという意見もございますので、詳しく書いたものを配布して、わかりやすく説明したいと思っております。

建設候補地だけではなくて、これまで検討してきた内容、どのような図書館を作りたいか検討してきたことも説明いたしますし、現在、チラシ等もわかりやすいものを作成しております。検討してきた経過と建設候補地についてご説明するというので、市の広報も9月15日号には掲載いたしました。10月1日号にも具体的な日にちや場所等を記載いたしますし、10月15日号でも再度、皆さんに興味を持っていただくように広報をしたいと考えているところです。

○佐藤教育長

ほかにございませんか。

それでは、質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長

それでは、生涯学習部に関する報告を終わります。ありがとうございました。

続いて、教育委員会関係についてお願いします。菅野教育部長。

○菅野教育部長

それでは、教育委員会部分についてご報告させていただきます。

資料No.1-1をご覧ください。併せて、資料No.1-2、1-3もご覧ください。

まず、一般質問についてですが、15名中9名の議員から質問がございました。

はじめに、佐藤峰樹議員から、岩手県化製油脂協同組合に係る公害対策の件で、悪臭について、教育施設及び保育施設への影響、保護者や利用者等からの苦情の状況について質問がございました。

答弁では、教育委員会の所管する矢沢地区の教育施設及び保育施設等については、矢沢小中学校のほか、認定こども園3園、企業主導型保育施設1園、矢沢学童クラブ、こども発達

相談センター、博物館の9施設がございますが、いずれの施設においても、保護者や利用者からの苦情はないこと、また、学童クラブからは、コロナ感染防止で換気のために窓を開けると、臭いがひどい日は気になる、また、発達相談センターからは、臭いに敏感な子どもがいるために、臭いの強い日は外での活動に影響が出る場合があるといった回答があった旨、お答えしているところでございます。

次に、伊藤盛幸議員ですが、学校給食について、保護者の負担軽減について質問がございました。

答弁では、学校給食の無償化は、県内でも小規模自治体で実施しているところもありますが、県内14市で実施しているところはないといった状況もあり、教育委員会としては、老朽化した施設の改善に財源を投じるため、給食費については、引き続き保護者の負担をお願いしたい旨、お答えしております。

また、学校給食費の助成に限らず、子育て支援については、今月から保育料の負担軽減、また、来年度予定している子どもの医療費助成の拡大など充実を図っているということで、今後も市全体として、支援策を検討していくこととしており、議員から多子世帯への助成という提案がございましたが、その中で検討していく旨、お答えしているところでございます。

次に、鹿討康弘議員からは、小中一貫校について、矢沢小学校及び矢沢中学校への導入に向けた検討状況について質問がございました。

矢沢中学校における小中一貫校につきましては、令和元年の中学校PTAにおいて、検討の必要性についてご意見をいただいたことをきっかけに、教育委員会としても小中PTA等に情報提供してきたところですが、令和3年に矢沢小中のPTA役員、校長等からなる検討組織を立ち上げておりました。その後は、コロナ禍の影響で活動を行えなかったという経緯がございました。答弁では、このような経緯の説明から、本年4月に検討組織「矢沢小・中学校のあり方検討委員会」を開催し、今年度の取組内容を決めたこと、取組内容としては、先進事例として、8月には、4月に開校した紫波町の紫波東学園、10月には盛岡市の盛岡西峰学園の視察を行い、報告会を行うこと、年度内を目途に方向性を集約する予定であるということを報告いただいていること、併せて、紫波東学園の視察結果についての説明、また、教育委員会としては、今後も必要な情報提供、検討委員会との協議を重ね、方向性がまとまった段階で地域の意向確認、諸課題の整理を行い、その後の具体的スケジュールを示していきたい旨、お答えしております。

次に、照井省三議員から、小中学校の教育環境の整備について、学校施設について、維持管理について、特別教室へのエアコン設置について、校舎の長寿命化について、また、学校図書館の充実についてということで、図書標準の達成率について、新聞配備の状況について、学校司書の配置状況について質問がございました。

学校施設の維持管理については、例年6月に各校に施設の整備や修繕に関する要望について照会を行い、担当者が現地確認を行い現状把握に努めていること、その上で、生命、身体に危険が及ばないか、教育活動に支障がないか等、優先順位をつけ、緊急性の高いものに

については早急に、そのほかの箇所については、計画的に修繕を実施していること、その要望以外にも、連日のように問い合わせがありすぐに対応できない場合もあり、時間を要しているものも相当数ある旨、お答えしております。

特別教室へのエアコン設置については、現在、345室中98室に設置しており、利用頻度の高いところを中心に設置していること、今後は、狭い部屋へのルームエアコンの設置やレンタルクーラーの利用など工夫するとともに、必要な箇所に計画的に設置していきたい旨、お答えしているところです。

校舎の長寿命化については、桜台小学校について、今年度から3年間で長寿命化工事を実施することとしており、今後は、児童生徒数の推移や施設の老朽化の状況等、対象校を見極めながら実施する学校を検討していくこと、工事の進め方については、桜台小学校の工事に際し、PTA、地域、学校教育委員会で組織する検討会を開催し、意見をいただきながら進めていること、施工にあたっては、児童の安全を最優先し、授業への影響がないよう配慮しながら進めていくこととしており、今後の長寿命化工事についても、この工事を基本に十分検討した上で進めていく旨、お答えしております。

次に、学校図書の充実について、図書標準の達成率については、市内小中学校17校の達成率は116%、中学校11校では105%で、100%を超えている旨、お答えしております。新聞配備の状況については、国の計画では小学校2紙、中学校3紙となっているところ、小学校では平均1.2紙、中学校では3.3紙となっていること、その上で、各学校では新聞配備の有無にかかわらず、新聞記事を利用したり、学習したことを新聞にまとめたりするなど、新聞活用を積極的に行っている旨、お答えしております。

学校司書の配置については、現在、市内の小中学校では配置していないこと、一定規模以上の学校に配置する司書教諭については、ボランティアの方々の支援、コミュニティスクールの取り組み、学校教育課に配置している学校図書館支援員による支援により負担軽減を図っていること、また、新花巻図書館整備基本計画試案検討会議において、市立図書館と学校図書館との連携について検討されている旨、お答えしております。

5件目、櫻井肇議員から、学童クラブへの支援ということで、放課後児童支援員の確保に取り組む考えはないかとの質問でございます。

現在、全学童クラブにおいて、条例で定める職員の配置基準を満たしていること、一方で、土曜日、長期休暇中などの運営においては、職員の配置に余裕がないことを認識していること、その上で、国や県の制度などを利用し、職員の処遇改善や負担軽減に関する補助を行っていること、市の広報を使って学童クラブの職員募集を行ったこと、市が進めている保育所等の保育士確保対策の中で、学童クラブの職員についても併せて取り組んでいるとお答えしております。

次に、内館桂議員からは、東和地域の公共施設の件の中で、旧ふるさと歴史資料館の跡地活用について、旧岩手県立東和高等学校施設の活用について質問がございました。

旧東和ふるさと歴史資料館については、隣接する旧とうわ子ども未来館の財産処分手続

き等の課題を併せて解決する必要があること、さらには、建物の規模が大きく解体には多額の費用が見込まれること、さらには、病院跡地ということで必要に応じて土壌改良を行わなければならないということを踏まえた上で、具体的な方策が定まらない限りは、早急な解体撤去等は困難である旨、回答してございます。

また、旧岩手県立東和高等学校の施設活用については、現在、県埋蔵文化財センターの発掘調査で出土した資料を相当数保管しており、今後も搬入を予定していること、議員から提案のあった、旧東和ふるさと歴史資料館の資料展示について、東和高等学校を利用したらどうかという提案があったのですが、東和コミュニティセンターにあります東和ふるさと歴史展示室や、博物館において展示活用していくこととしており考えていないこと、また、仮に県が施設を無償譲渡するとしても、これまで、その後の改修、補修に多額の経費がかかった事例もあり、慎重に判断しなければならないことをお答えしてございます。

次に、似内一弘議員から、中学校部活動の地域移行についての検討状況について、競技団体、学校指導者及び保護者等の参画を求める必要性についての質問でございます。

検討状況については、8月に開催した学校関係者、PTA、スポーツ団体関係者、芸術文化団体、市関係部局の担当者からなる花巻支部活動あり方検討会議で、具体的な方策等の検討を行ったこと、その中で、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実や、地域部活動の受け皿となる地域におけるスポーツ文化団体の整備、充実を進めることなど、8つの課題を確認したこと、今後、その課題の解決策の検討と、児童生徒、保護者、教職員に対する地域活動に関するアンケート調査を行い、その結果を踏まえ、今年度内に、地域移行に係る試案を検討会議に示したいこと、令和5年度中には、いくつかのモデル校、モデル団体を指定し、進めていきたい旨をお答えしております。

競技団体学校指導者及び保護者等の参画を進める必要性については、そういった団体等の理解と協力が不可欠であると捉えており、生涯学習部と連携しながら、関係者に対し説明協議を十分行い、ご意見をいただき、ご理解を深めていただきながら進めていきたい旨、説明してございます。

次に、佐々木精市議員から、平和教育についてということで、小中学校での現状について、戦争体験者からの聞き取りなど今後の取組について質問がありました。

平和教育については、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じて行っていること、また、市が非核平和都市宣言をしている一環として、市内講師による平和教室や小学生を広島市に派遣する非核平和学習を行っていることなど、例を挙げてお答えしております。今後の取組について、戦争体験者から聞き取りをするなど先の大戦を経験された方のお話を伺うことは大切な学習と捉えており、小中学校の社会科でも学習モデルが示されていることから、学校や地域の実情に合わせながら学習を進めていること、また、関係者が高齢化する中、今後は聞き取りも難しくなることから、生涯学習でも行ってきた講座の資料をまとめたり、市史編さんの中で記録化したりするなど、次世代に継承していく取組について研究していかなければならないと考えている旨、お答えしてございます。

菅原ゆかり議員からは、子宮頸がんワクチンに関して、小中学校におけるがん教育の取組について質問がございました。

小学校では、主に6年生の保健の授業の中で、中学校では、主に保健体育の授業の中で、健康教育の一環として実施していること、その際には、家族にがん患者がいることなども想定し、十分配慮しながら指導している旨説明してございます。

一般質問については、以上でございます。

資料1-1の2ページをご覧ください。

2議案審議でございしますが、まず1の条例、少子化等により児童数が減少して、学校規模の適正化により教育規模の充実を図るため、花巻市立笹間第二小学校を廃止し、花巻市立笹間第一小学校と統合するといったことで、花巻市立小中学校設置条例の一部を改正する条例を提案してございます。

審議では、一部統合自体に反対、また、小規模校を残すべきだというご意見がありましたので、不採決という結果になりましたが、賛成多数ということで可決してございます。

次に、2令和4年度一般会計補正予算でございます。

歳入については説明を省略し、歳出ですが、一般行政経費（児童福祉）ということで、2,591万9,000円と大きな額になっておりますが、子ども子育て支援交付金等の返還金になります。これは、例えば保育所が、一時預かり保育や延長保育に取り組んだ場合に補助が出るという中身になっておりますが、あらかじめ計画を立てて国に資料を提出して概算で調べているわけですが、昨年度はコロナの影響もあり、そういった制度の利用者が少なかったということで、精算した結果、返還金が生じているといった内容になっております。

ウ保育力充実事業は、待機児童の解消、保育の質を確保するための情報発信として、保育士のマッチングサイトを構築しようというものです。また、保育のインターンシップ事業の補助金を創設するといった内容になってございます。

エについては、東和中学校の大規模盛土造成地の滑動崩落防止対策工事が必要になりましたので、そのための実施設計として計上しているものでございます。

オ学校給食センター改修事業につきましては、給食配送車を購入しようとしていたところですが、年度内に納車になる見込みがないこと、また、予算要求時に算定した金額では、想定している車両が買えないということで増額が必要になったという事情もありまして、一旦、今年度は取り止めにして来年度改めて要求しようとしたものでございます。補正予算についても、すべて可決されてございます。

3花巻市一般会計歳入歳出決算の認定でございしますが、別紙1-3のとおりの内容で可決されているところでございます。

歳入につきましては、保育料の滞納状況についてご質問がございましたし、歳出につきましては、学童クラブの職員の処遇改善やGIGAスクールの進捗状況、特別な支援が必要な子どもへの取組についての質問がございました。

もう一つ、資料には掲載してございませんが、桜台小学校の長寿命化改良工事、契約を締

結しておりますが、契約金額が、議会の議決案件となったことで、議会に提案して可決していただいております。

桜台小学校の建築工事につきましては、契約金額が6億2,733万円で、株式会社佐賀建設が契約相手となっております。機械設備工事については、契約金額が1億6,137万円で、契約の相手方は三和設備工業株式会社でございます。

**○佐藤教育長**

質疑のある方はお願いいたします。中村委員。

**○中村弘樹委員**

答弁の内容ではないのですが、コミュニティスクールの取組が6つの学校で始まっているとありますが、どこでしょうか。

**○佐藤教育長**

及川学校教育課長。

**○及川学校教育課長**

中学校区でコミュニティスクール、学校運営協議会が作られておりますが、湯本小中学校区、大迫小中学校区、東和小中学校区、花巻北中学校と桜台小学校、矢沢小中学校区、湯口小学校区の6つでございます。

**○佐藤教育長**

中村委員。

**○中村委員**

全部でいくつの地域があるのですか。

**○佐藤教育長**

及川学校教育課長。

**○及川学校教育課長**

11中学校区でございますので、11中学校区でございます。市の要綱では、中学校区でコミュニティスクールを作ることを基本としておりますので、次にどこで作られるかというのはまだ確定していないところではありますが、基本に沿えば11の学校運営協議会ができるということになると思います。これが、令和5年度にはすべての中学校区でコミュニティスクールを作るという計画で進めているところでございます。

**○佐藤教育長**

今の状況では、西南中学校区で笹間第一小学校と笹間第二小学校の統合がありますので、まずは中学校区で、太田小学校を含めた形で編成しながら段階的に持っていくということで検討しているようです。

それから、石鳥谷中学校区について、小学校が4校あり、全部一体となることは非常に難しいということで、中学校区で持っていくほうがよいという考え方と、小学校区で立ち上げておいて、発展的に統合させたほうがよいという考え方の2つがあるようです。

中学校区でということは基本としておりますが、地域の実態があるので、それぞれの地域

でやりやすい形でやってもらうということで、石鳥谷については現在検討中であるようです。

ほかにございませんか。質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

(なし)

#### ○佐藤教育長

それでは、「質疑なし」と認め、只今の報告に対する質疑を終結いたします。

次の事項、事業実践公開研究会のお知らせについて報告をお願いいたします。及川学校教育課長。

#### ○及川学校教育課長

資料No.2をご覧ください。今年度の授業実践公開研究会の開催予定についてご報告いたします。

花巻市教育委員会では、校内研究の充実及び教員の指導力向上を図ることを目的に、研究指定校による授業実践公開研究会を開催してございます。

今年度は、小学校が宮野目小学校、石鳥谷小学校の2校、中学校が、花巻中学校、南城中学校、湯口中学校の3校の、小中合わせて5校が、これまで取り組んできた研究の成果を公開する予定となっております。

各校の公開期日、研究主題等は、表のとおりとなっております。

本来であれば、教育委員の皆様方に正式にご案内の文書を配布させていただき、当日、各校を参観いただいた上で、ご助言、ご意見を頂戴したいところではございますが、昨年度同様、本年度も新型コロナウイルス感染症対策として、研究会の規模を縮小した形で行うこととしてございます。参観者も市内外から広くお招きしたいところではございますが、市内近隣の学校のみ参加とし、研究会の先生方に一同に集まる形ではなく、分散して行う分科会を予定しております。

正式なご案内は差し控えさせていただきましたが、ご参観いただける委員の方がいらっしゃいましたら、各学校にお伝えいたしますので、事前に学校教育課までご連絡いただければと思います。

#### ○佐藤教育長

公開研究会は10月12日から約1ヶ月、5つの学校で予定しております。

できるだけ委員の皆様にもご出席いただきたいと思います。今説明がありましたように、ご参観いただける場合は、日にちを覚えていただければありがたいと思います。

それぞれの学校で、数年間かけて準備してきたということで、頑張っているところでありますので、ぜひ現場を見ていただいて激励、ご指導いただければありがたいと思います。

次の報告、教育委員会関連行事に関しては、お手元に配付いたしました日程表により報告に代えさせていただきます。

それから、資料の最後に、花巻市博物館及び萬鉄五郎記念美術館から、イベントの情報が  
あります。博物館では、「花巻のやきもの一縄文から現代一」ということで、古代から現代  
までの焼き物に絞った企画展を実施しております。萬鉄五郎記念美術館では、「橋場あや  
地上5cmの歩行展」が10月1日からの予定でありますので、ご案内申し上げます。

以上で、本日の議事日程は終了いたしました。

本日の教育委員会議の部分については、これをもって閉会といたします。大変ありがとう  
ございました。